

# さいたま市の新年度施策に反映される公明党の提言

## 公明党の視点1 災害に強い都市づくりが進みます！

【提言】異常気象による集中豪雨が多発しており、浸水対策・内水排水対策は市民ニーズが高い。浸水被害の抜本的な解消には、下水道雨水幹線・流域貯留施設整備・調整池の設置など長期的な対策が必要。併せて、短期的対策として被害軽減への取り組みを強化するべきである。

### ■河川改修・流域貯留浸透・下水道浸水対策

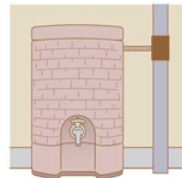
平成27年度は、総額100億円が投資され総合的な浸水対策が進められます。岩槻区内の主な事業では、徳力調整池の設置・西原小、川通小に流域貯留施設を整備・ふれあいプラザいわつき調整池のポンプ増強工事（能力が3倍に）等が実施されます。

### ■住宅用雨水貯留タンク設置補助制度を創設

災害時の非常用水の確保、雨水の有効利用、敷地内で雨水の流出抑制効果も期待されます。

### ■浸水情報システムが稼働

ゲリラ豪雨時の主要河川・水路・道路アンダーパス・下水道の水位情報・排水ポンプの運転状況などを監視する、「浸水情報システム」が稼働し、市危機管理センターと情報共有されます。



## 公明党の視点2 安心して子育てできる保育・教育の充実！

【提言】保育所の待機児童解消のためには、施設設置のための土地やテナントの確保が喫緊の課題となっている。民間活力の活用を含めた体制強化が求められており、保育所・放課後児童クラブの新規整備に特化した担当室を設置するべきである。

### ■待機児童解消推進を担当する「のびのび安心子育て課」を創設

平成22年度～平成27年度までの5年間で保育園数は37施設増。定員は5053人増が図られました。新年度予算でも、平成28年4月1日の受入れを目指し認定こども園も含め13施設の新設。2施設の増築で、1120名の定員増加に取り組むことになりました。



## 公明党の視点3 交通が便利な住みやすい都市をつくります！

### ■市内全駅のバリアフリー化へ

現在、岩槻駅舎改修工事が行われています。2月7日よりエレベーターの供用が開始されました。さいたま市では、平成28年度末を目標に市内33駅全駅のバリアフリー化が推進されます。



### ■安全な街区道路へ「ゾーン30」を6地区で実施

最高速度30kmの速度規制と地区の道路環境整備を組み合わせる「ゾーン30」が順次、市内で実施されています。岩槻区では、東岩槻1丁目・上里1、2丁目地区が既に整備されました。新年度、本町4、6丁目地区、仲町1、2丁目地区で整備が実施されます。（他5区で実施）

